

試聴会・訪問記掲載

上新電機オーディオ試聴会 (2015.6.7)

—EXOGAL”Comet”の試聴—

1. はじめに

ジョーシン日本橋 1 ばん館で開催された EXOGAL の D/A コンバーター”Comet”の試聴会に行ってきました。

2. 試聴会の進行

EXOGAL の D/A コンバーター”Comet”の製品紹介のページを添付しておきます。

<http://www.axiss.co.jp/brand/exogal/comet/>



試聴は、Harbeth の新しいスピーカー Super-HL5-Plus とジェフローランドのプリアンプとパワーアンプおよび foobar2000 インストールの PC を使用して行われました。Super-HL5-Plus は本年 4 月に[河口無線の試聴会](#)で聴いており好印象をもっています。EXOGAL”Comet”は Wadia のエンジニアが設計したとのことで Harbeth の Super-HL5-Plus にも助けられ、総じてこなれた音がしていました。また、EXOGAL”Comet”は、ボリューム機能があり、AD コンバーターでアナログ入力を

96KHz24bitPCMに変換することができるので、DACプリのような使い方ができますし、ヘッドフォン端子もあるとのことでした。なお、S/PDIF入力がBNC端子であったり、出力がバランス端子も備えているなど、少しプロ用を意識したような作りになっています。

試聴の最初は、ヤマハのプレイヤーS-3000のアナログ出力とS-3000をトランスポートとして使用してS/PDIFデジタル出力をEXOGAL”Comet”に入力した場合とを比較することから始まりました。ジャズボーカルでは、後者のEXOGAL”Comet”のDACを使った方が抜けがよく透明感が出てきました。さらにリッピングしたWAVをPCからUSB入力に送り込んだ場合の比較が行われましたが、S/PDIFデジタル入力とUSB入りに大きな違いがなく、わずかにUSB入力がニュアンスが深まる程度でした。さらにCD再生のS/PDIFデジタル入力とリッピングしたWAVをPCからUSB入力して再生する比較をファリヤの三角帽子とジャズで聴きましたが、上記と同様にわずかにUSB入力がニュアンスが深まる程度で、S/PDIFデジタル入力のクオリティも高いことが分かりました。

ここでEXOGAL”Comet”の電源を付属のものから別売りの強化電源に替え、上記のジャズボーカル、三角帽子、ジャズを聴いていきましたが、ボーカルのニュアンスが深まる、ジャズのアタック感が強くなる、三角帽子の音場感が広がるなどの効果が出てきました。

さらに強化電源のまま、PCからUSB入力する再生を、女声ボーカルを二つほど、ジャズ、Vソナタ、サンサーンスのチェロ協、オルガン、ネットオーディオの付録音源などを順次聴いていきました。これらのうち、ほとんどが配信その他で入手された2.8MHzのDSD音源でしたが、ヴァイオリンやチェロの柔らかく澄んだ音がうまく再現できていてクラシックの再生に定評のあるSuper-HL5-Plusを活かし切っていたと思います。

このようにEXOGAL”Comet”はWadiaのエンジニアが設計したとのことでしたが、USB入力、S/PDIF入力ともかなりクオリティの高い再生能力を持っているという印象を持ちました。

以上